

活動報告

平成29年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会学術活動

長岡中央総合病院、検査科；臨床検査技師

佐藤 雅哉

平成29年度にJA 新潟厚生連臨床検査技師会が企画運営した学術活動を報告する。「JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会主任研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会」の4研修会を行った。

今年度は11名の技師が採用され、5月に新採用技師10名参加のもと新人研修会が行われた。6月から始まる日当直業務に多少なり不安を感じている頃に、担当部署以外の業務について学べる貴重な研修会である。職場での接遇、心構えなど検査業務以外の重要な事項の再認識の場でもあり、多くの新人を迎え入れる技師会としても新人教育は最も必要であると考え。受講された新人技師には各々の施設で成長し、地域医療を担い支える一員として職場内での信頼を得るとともに臨床検査技師会などでの幅広い活躍を待望する。

春季研修会の教育講演では、臨床検査技師の新たな取り組みとして認知症検査について日臨技認知症領域検査技師制度の認定を取得した寺島主任からご講演頂いた。また株式会社ヤクルト本社広報室次長、河見浩司郎先生を講師として腸内フローラと健康という内容で特別講演を企画した。秋季研修会では、団塊の世代が後期高齢者になり低い出生率により生産人口の減少を招くと言われている2025年問題についてと、臨床検査技師として携わることの多い採血業務関連として、採血管の取り扱いと採血における接遇についての特別講演2題を企画した。各研修会では活発な意見交換、情報交換もあり110名を超える参加者の熱気が感じられた。技師会活動に対する会員の御理解、御協力に深謝する。

日本医学検査学会、北日本支部医学検査学会、新潟県臨床検査技師会主催の県や各地区の学会及び研修会にも例年通り参加した。第66回日本医学検査学会は『Vision—夢・創造—臨床検査の更なる進化と多様性を求めて』をテーマに千葉県千葉市の幕張メッセにて6月17日（土）・18日（日）の両日に開催され、当検査技師会からは7名が参加した。第6回日臨技北日本支部医学検査学会は『深化×伸化×新化～臨床検査の技と美を追求する～』をテーマに秋田県秋田市の秋田県総合生活文化会館アトリオンにて10月13日（金）・14日（土）の両日に開催され、当検査技師会からは代表派遣5名が参加した。学会に参加することは知識の向上につながり、他病院の技師と様々な情報交換もできる貴重な機会である。

今年度より主任臨床検査技師を対象とした研修会を企画した。次世代の厚生連臨床検査技師会を担う主任臨床検査技師の資質向上を目的として今後も開催していく予定である。

今後も様々な学会や研修会を通じて、最新医療の知識や技術を習得していくことが求められる。何事にも臨機応変に対応できる臨床検査技師を目指して、自発的に行動し学習する姿勢を継続することが重要である。JA 新潟厚生連本会の学会、研修会派遣への御理解と御協力に深謝する。

以下に平成29年度の各研修会活動内容を示す。(所属病院、役職、姓名は研修会当時のものである)

【平成29年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会】

日時：平成29年5月12日（金）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

内容：	（部 門）	（講 師）	
接 遇	「職場での接遇・心構え」	…古俣 直樹会長	（長岡中央総合病院）
厚生連・技師会の概況と現状	…山宮 龍一副会長		（新潟医療センター）
血液検査	…片沼 和輝技師		（上越総合病院）
微生物検査	…安藤 昭子主任技師		（豊栄病院）
生化学検査	…山川 栄一主任技師		（長岡中央総合病院）
実技講習	生理部門	…北見 嘉男技師	（村上総合病院）
		寺島 健技師	（小千谷総合病院）
		近 柚香技師	（上越総合病院）
		今井 沙織技師	（長岡中央総合病院）
一般部門	…吉田 智子技師		（新潟医療センター）
		石橋美由紀技師	（長岡中央総合病院）

（受講対象者…11名）

福田 裕美（糸魚川総合病院）

小玉瑛里華（糸魚川総合病院）

鈴木 杏奈 (上越総合病院)
小林 里絵 (上越総合病院)
津島 千花 (上越総合病院)
信田 佳穂 (柏崎総合医療センター)
樋口 京花 (柏崎総合医療センター)
西村 梨南 (長岡中央病理部)
谷川 恵 (新潟医療センター)
坂井 郁美 (村上総合病院)
佐藤 駿 (佐渡総合病院) [順不同]

【平成29年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会・総会】参加人数：136名

日時：平成29年6月3日(土)

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

・教育講演

『臨床検査技師の新たな取り組み—認知症検査について—』

小千谷総合病院 寺島 健主任技師

・特別講演

『腸内フローラと健康』

株式会社ヤクルト本社広報室次長 河見浩司郎先生

・一般演題

座長…近藤 善仁技師 (あがの市民病院)

1. 『血液培養より好気環境下で発育可能な Clostridium tertium が検出された1例』

…新田 敏貴技師 (長岡中央総合病院)

2. 『肺炎マイコプラズマ感染症における各種診断検査の有用性の検討』

…藤田 勝嘉技師 (上越総合病院)

・分科会

<一般検査研究班>

議事

・新役員の選出

講義

『尿蛋白とその意義②』

シーメンスヘルスケア株式会社

<微生物研究班> 参加人数：15名

各施設の問題点の発表と討論

・VRE のスクリーニング検査を行っているかどうか

・CRE の確認はどうしているか

・喀痰の培養の手順

・婦人科検体の菌種の推定はグラム染色で行うか

・抗酸菌染色で個体由来のアーティファクト出現時の対応策

・婦人科検体で GBS スクリーニング培地の必要性はあるか

各施設から意見を頂き大変参考になった。

<血液研究班> 参加人数：15名

議事

・新役員の選出

講義

『背景と細胞から考える血液形態検査 ～リンパ系異常細胞を中心に～』

シスメックス株式会社 学術サポート課 林 文明先生

<病理細胞診研究班> 参加人数：13名

議事

・新役員の選出

上越総合病院病理部紹介 (3月稼働)

設備や運用の他に厚生連病院で初めて本格的に導入された病理システムについても概略を説明して頂いた。

<生化学研究班> 参加人数：18名

議事

・生化学統一試薬の解除を受けてから現在までの新試薬の申請状況の確認

・JCCLS 共用基準範囲について

他施設(外注先、県立等)の動向を確認後、秋季研修会で再検討する。

講義

『キャピラリー電気泳動の実演と蛋白分画について』 (株)フィンガルリンク

<生理研究班> 参加人数：37名

議事

・新役員の選出

講義

『何故、運動器エコーは必要とされるのか?』

コニカミノルタジャパン(株) 阿部 史称先生

・総会

◎平成29年度役員（所属は当時）

技師会長…古俣	直樹（長岡中央総合病院）	
副会長…山宮	龍一（新潟医療センター）	…（組織）担当
副会長…安藤	昭子（豊栄病院）	…（学術）担当
事務局長…坪谷	貴治（柏崎総合医療センター）	
事務局長…佐藤	雅哉（長岡中央総合病院）	
役員…阿部	健司（糸魚川総合病院）	…（生理）担当
	…植木 基彦（けいなん総合病院）	…（組織）担当
	…笹川 亮（上越総合病院）	…（血液）担当
	…樋口 正幸（小千谷総合病院）	…（細菌）担当
	…戸田 誠二（長岡中央総合病院病理部）	…（病理）担当
	…小浦方真弓（三条総合病院）	…（一般）担当
	…吉田 賢一（あがの市民病院）	…（学術）担当
	…中東 哲夫（村上総合病院）	…（検査システム）担当
	…田村 和孝（佐渡総合病院）	…（生化）担当
会計…佐藤	治子（長岡中央総合病院）	
会計監査…山崎	健作（柏崎総合医療センター）	
検査システム委員…中東	哲夫（村上総合病院）	
ホームページ委員…山川	栄一（長岡中央総合病院）	

◎平成29年度研究班役員（所属は当時）

【一般検査研究班】

班長…貝沼	宏樹（糸魚川）
副班長…吉田	賢一（あがの市民）
副班長…齊藤	玲奈（村上総合）
事務局…石橋美由紀	（長岡中央）

【微生物研究班】

班長…藤田	勝嘉（上越総合）
副班長…早川	宏美（村上総合）
副班長…飯塚	麻里（長岡中央）

【血液研究班】

班長…山本	泰子（佐渡総合）
副班長…草野	号（糸魚川総合）

【病理細胞診研究班】

班長…塩田吉一郎	（あがの市民）
副班長…近藤	正（長岡中央）

【生化学研究班】

班長…森山	直美（三条総合）
副班長…渡辺	直樹（糸魚川総合）
副班長…山川	栄一（長岡中央）

【生理研究班】

班長…小池	信代（柏崎総合医療センター）
副班長…板橋	由恵（村上総合）
副班長…佐藤真理子	（新潟医療センター）
副班長…植木	基彦（けいなん）

・平成28年度最優秀演題、優秀演題表彰

●最優秀演題

『脊髄脂肪腫が疑われた1症例』

中川 友也技師（新潟医療センター）

受賞理由：脊椎病変の検査は主にMRIが主体であるが、椎弓の骨化が進んでいない新生児には超音波検査による脊髄周囲所見、異常構造物の有無、終糸肥厚の有無、馬尾神経の可動性を観察し、脊椎病変の早期発見・早期治療を行うためのスクリーニング検査としての有用性が報告されている。鎮静なしで非侵襲的簡便に施行できる脊髄超音波検査がMRI適応の決定に中心的役割となりうる点も含め意義ある報告である。

●優秀演題

『化学療法中に心不全を発症した2症例』

今井 貴子技師（長岡中央総合病院）

受賞理由：化学療法の高毒性対策として、最初の徴候に心拡張機能の変動にも注意深くモニタリングしていく必要性がわかりやすく報告された症例である。

要旨：教育講演は日臨技認知症領域検査技師制度の認定を取得した寺島主任から臨床検査技師と認知症検査における今後の展望についてご講演頂いた。認知症による交通事故など社会問題となっているが、現在65歳以上の認知症患者は軽度認知障害（MCI）を含めると1300万人にのぼると推定される。日臨技は700名以上（現在126名）の認定技師を育て、臨床心理士が行っている神経心理的検査を臨床検査技師も行えるよう取り組

んでいる。認知症領域という新たな領域での業務拡大や認知症の早期発見、早期治療による予防医学にも貢献できるという可能性を知り、日臨技の取り組みや認知症について知識を深める事ができた。

特別講演は株式会社ヤクルトの河見浩司郎先生にご講演頂いた。大腸内には常在菌が100兆個以上存在し、総重量は約1kgになる。種類は300~500種類でそれらを腸内フローラと呼んでいる。腸内フローラには有用菌(良い働きをする菌)の乳酸桿菌、ビフィズス菌、中間的な菌の大腸菌、バクテロイデス、有害菌(悪い働きをする菌)の黄色ブドウ球菌、ウエルシュ菌などが存在する。プロバイオティクス(人に有益な作用をもたらす生きた微生物)である乳酸菌シロタ株はヤクルトに含まれていて、ヤクルトを飲み続けることにより腸内フローラのバランスを整え有用菌を増加し、有害菌や有害物質を減少させ、免疫力向上、健康維持、老化防止などの生理効果がある。また、動脈硬化、糖尿病、うつ病などにも効果があるとの報告もある。腸内細菌について臨床検査技師とは全く異なる視点からのアプローチを学ぶことができ、とても有意義な講演だった。

一般演題は細菌検査部門から2演題の発表があった。自施設での咽頭マイコプラズマ抗原迅速検査キットの検討ではPCR検査との比較で販売メーカー公表より大きく下回る感度や乖離する結果の報告があった。また、希少症例報告もあり、とても有用な内容の報告だった。

各研究班は班長等の改選を行い、今後の活動計画や検討事項が合議されるとともに、講義も行われた。

【平成29年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会主任研修会】参加人数：主任臨床検査技師18名 技師長3名

日時：平成29年9月9日(土)

会場：長岡中央総合病院 健診棟会議室

要旨：厚生連臨床検査技師会の新しい試みとして主任臨床検査技師を対象とした研修会を企画した。目的は主任臨床検査技師の更なる資質向上である。講演『2025年問題/現在の医療を取り巻く環境について』を基に、「検査室に起こりうる変化とは」、「検査室に求められることは何か、どう対応すべきか」といったテーマでディスカッションし発表を行った。また、講演『伝える力 プレゼンテーションの基礎』の後、「今後の検査室における“私”の役割」をテーマに主任一人一人が1分間スピーチを行った。それぞれが主任臨床検査技師として責任ある考えを持ち、自覚ある発言をしていた。資質向上という目的に沿った研修会であったと感じる。今後も厚生連本部のご理解ご協力のもと円滑に開催を図っていきたい。

【平成29年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会】参加人数：118名

日時：平成29年11月3日(金)

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

・特別講演

【採血現場を中心とした医療現場における接遇のポイント】

極東製薬工業株式会社 中岡 啓一先生

【2025年問題と検査室の方向性】

アポットジャパン株式会社 セールステクニカルソリューション部 高岡登志彦先生

・第66回日本医学検査学会報告 千葉県千葉市：平成29年6月17日(土)・18日(日)

澤口 幸希技師(糸魚川総合病院)

石井 幸恵技師(長岡中央総合病院)

・第6回北日本支部医学検査学会報告 秋田県秋田市：平成29年10月13日(金)・14日(土)

小柳 洸土技師(佐渡総合病院)

・一般演題

座長…小川由加里技師(上越総合病院)

1. 『当院で経験したアミロイドーシスの一症例』 …野澤 昂明技師(柏崎総合医療センター)

2. 『肝硬変と診断されたOsler-Weber-Rendu disease(オスラー病)』 …寺島 健技師(小千谷総合病院)

座長…市村 正道技師(新潟医療センター)

3. 『当院で経験した自己抗体保有患者への輸血の1症例』 …草野 号技師(糸魚川総合病院)

4. 『BD Phoenix100を導入して』 …樋口 正幸技師(小千谷総合病院)

5. 『CK-MB 逆転現象を契機として推測されたマクロCK type1によるCK持続的偽高値の一例』

…近藤 善仁技師(あがの市民病院)

・施設代表者会議

・分科会

<一般検査研究班> 参加人数：13名

議事

・新役員の選出

・各施設の問題点について

講義

『赤血球形態の鑑別と尿中有形成分分析装置の特徴』 栄研化学株式会社

＜微生物研究班＞ 参加人数：13名

議事

- ・新役員の選出
- ・結核の早期発見の検査手段について
- ・情報共有ソフトサービス終了に伴う個人情報などの取り扱いについて

講義

『抗酸菌検査ガイド2016について』 極東製薬株式会社 学術部

＜血液研究班＞ 参加人数：11名

講義

『凝固・線溶検査で知っておきたい基礎知識』 積水メディカル株式会社

＜病理細胞診研究班＞ 参加人数：13名

議事

- ・新役員の選出
 - ・症例検討会
- 細胞診で鑑別困難と判定され、その後組織生検が行われた乳腺症例のスライドを使用。

＜生化学研究班＞ 参加人数：15名

講義

『データトラブル事例集』 (株)シノテスト

議事

- ・新役員の選出
- ・共用基準範囲への変更について
- ・生化学統一試薬解除後の新規試薬申請状況について
- ・脂質試薬の統一について

＜生理研究班＞ 参加人数：30名

講義

『陰影聴取とマスクング』 リオネットセンター

議事

- ・平成29年度サーベイランスについて

要旨：特別講演は『採血現場を中心とした医療現場における接遇のポイント』、『2025年問題と検査室の方向性』の2題だった。1題目は、採血管の取り扱いと採血時における接遇についての講演で、新人技師も携わる業務のため現場で大いに役立つ内容と思われた。接遇に関しては、人により言葉や表情の捉え方が異なるため、一概には決められない。しかし、些細なことでも大きなクレームに発展しやすいことを理解した上で、クレームの芽を摘み未然に防ぐような組織全体での取り組みが重要とのことだった。そのためには部門間や職員同士の連携が必要であり、その結果として患者満足の向上につながるようにしていかなければならないと感じた。また、採血管の取り扱いに関しては、採血量の過不足により検査値に影響を与える場合や、採血方法や検体の取り扱い方法によって検査値が変化する場合があるといった内容であった。検査項目だけではなく、採血管の取り扱いについても充分熟知していなければならないことを再確認できた講演であった。2題目は2025年問題と検査室、病院経営についての講演であった。2025年には団塊の世代が後期高齢者になり、出生率が低くなるため生産人口の減少を招くと言われている。介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念され、国と地方の債務残高は増加し国の財政は破綻するとも考えられている。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症とも言われている。そのような背景から、在宅での医療が増加し、病床数が削減されることが見込まれている。今後は、認知症関連や在宅医療で臨床検査技師が求められる業務についても考慮する必要がある。その他にも、病棟検査技師など環境の変化に対応できる検査科が今後は必要になるとの内容であった。一般演題は生理検査部門の希少症例報告、輸血検査部門の症例報告、細菌検査部門の機器導入報告、生化学検査部門の5題と多岐分野に渡り、充実した発表内容となった。各研究班では講師を招いた講義、業務上の情報共有や今後の活動、新役員についてなどが検討され、活発な分科会となった。

【平成29年度学会派遣状況】

第66回日本医学検査学会

千葉県千葉市：平成29年6月17日（土）・18日（日）

代表派遣7名

- 木島 貴志（柏崎総合医療センター）
- 長谷川秀浩（新潟医療センター）
- 澤口 幸希（糸魚川総合病院）
- 中沢由美子（上越総合病院）
- 今井 貴子（小千谷総合病院）
- 石井 幸恵（長岡中央総合病院）
- 森山 直美（三条総合病院）

[順不同]

第6回日臨技北日本支部医学検査学会

秋田県秋田市：平成29年10月13日（金）・14日（土）

代表派遣5名

佐藤 雅哉（長岡中央総合病院）

小林由佳里（小千谷総合病院）

伊藤 望（新潟医療センター）

安達 俊幸（村上総合病院）

小柳 洸士（佐渡総合病院） [順不同]

【平成29年度研究班研修会】

輸血実技講習会（血液研究班主催）：平成29年7月29日（土）

会場：長岡中央総合病院5ブロック会議室

講師：認定輸血検査技師4名

参加人数：10名

(2017/11/27受付)